

目次

序論	1	3
一 はじめに	1	3
二 研究史概観	2	6
三 本研究の方針	3	25
第一部 井上流の歴史		
序章 先行研究とその問題点	1	39
一 歴史研究の始点	1	39
二 三世井上八千代の聞書と歴史叙述の展開	2	44
三 従来の歴史叙述とその情報源	3	49
第一章 初世井上八千代と創造の基盤	1	57
一 出生	1	57
二 堂上方への出仕	2	61
三 近衛家女房の役割	3	69
四 堂上方との交流	4	76
五 舞踊師匠としての出発	5	79
第二章 二世井上八千代と流派の形成	1	90
一 出生	1	90

二 現存する番組と出演者	92
三 伝承曲群の成立	110
四 名取式の举行	115
五 後継者の問題	118
第三章 三世井上八千代と伝承の確立	130
一 出生と井上流入門	130
二 敦賀行きと結婚	134
三 都をどりへの参画	139
四 女紅場の設立と舞踊教師への就任	159
五 三世井上八千代が継承した井上流伝承曲	168
第二部 井上流の舞踊	205
序章 言説の誕生とその傾向	205
一 機械的な舞という言説	205
二 肯定的な転化	209
三 流派内における特色の認識	210
第一章 井上流と撰家の芸能	216
一 はじめに	216
二 万歳と舞楽	218
三 能 楽	220
四 曲馬と舞踊	227
五 浄瑠璃	235

六 盆踊りと江戸歌	237
七 撰家の芸能の実態	242
第二章 井上流と花街の芸能	247
一 はじめに	247
二 舞稽古さらえ	249
三 大坂・名古屋への興行	255
四 年中行事と芸妓の舞踊	258
五 祇園会ねりものの趣向	268
六 花街の芸能の特色	303
第三章 井上流と能	311
一 はじめに	311
二 野村三次郎と町方の能	313
三 井上流と花街の能	325
四 井上流の本行舞と女能	339
第四章 井上流と人形浄瑠璃	357
一 はじめに	357
二 人形遣いとの交流	363
三 花街と女義太夫	374
四 井上流の人形ぶり	379
五 井上流の義太夫節伝承曲と人形浄瑠璃	384
第五章 井上流と歌舞伎	395
一 はじめに	395

二 歌舞伎の模倣と舞踊の稽古	400
三 上方の歌舞伎と音楽舞踊の展開	406
四 井上流の伝承曲と上方の歌舞伎	422
結論	441

初出一覧	452
京舞井上流主要参考文献	453
資料1 京舞井上流年表（初世～三世）	458
資料2 京都府立総合資料館蔵『歌舞練場温習会番組』一覧	465
資料3 祇園ねりもの番付一覧	502
資料4 祇園新地名鑑類一覧	518

あとがき	
索引	

京舞井上流の誕生

「恋袂二人道成寺」	296	渡辺保	7, 23, 25, 26, 28, 207, 208
『私の上り絵物語 合羽摺編』	269	「梶久」	101, 146, 240, 241, 254, 427
渡辺霞亭	41	「梶久物くるひ」	189

→「田村」
 『基前公記』 64, 65
 「戻(り)駕」 95, 112, 185, 187, 190, 191,
 253, 357, 362, 367~374, 408, 426, 445
 「紅葉壳」 189, 191, 427, 428
 「紅葉壳(おさな遊)」 190
 紅葉音頭 73, 232, 238, 239
 「紅葉狩」 173, 182, 184, 192
 「紅葉(の)賀」
 180, 183, 184, 191, 252, 287, 427
 →「紅葉のにしき」
 「紅葉の園」 189
 「紅葉のにしき」 188
 →「紅葉の賀」
 「百夜車」 94, 98, 112, 113, 253
 「守貞謾稿」 377, 402, 412, 415
 森永道夫 230
 森谷尅久 401

や

「八重桐」 381
 →「しゃべり山姥」「嬬山婆」
 「欄自来也談」 299
 「役者外題撰」 301
 「役者現銀店」 295, 297, 422
 「役者拳角力」 283
 「役者早速庖丁」 433
 「役者三世相」 296
 「役者神事競」 287, 291
 「役者早料理」 286
 「役者珠玉尽」 289
 「役者註真庫」 291
 「役者花見幕」 287, 289
 「役者繁栄話」 282
 「役者名所図会」 286
 「櫓のお七」 380, 383
 →「お七」「恋の緋鹿子」
 八坂踊 259
 八坂神社 268
 八坂神社絵馬堂 302, 332
 「八坂新地芸妓名よせ」 151
 八坂女紅場 156, 165

→女紅場
 「八島」 161, 162, 184, 185, 187, 188, 190,
 206, 210, 340, 397, 398, 415, 417
 →「長刀八島」
 「八島官女」 286
 安田富貴子
 21, 24, 48, 50~52, 58~60, 63, 216
 「保名狂乱」 188
 「保名物狂ひ」 189
 『弥太夫日記』 378
 「八千代の流れ」 14, 44, 49, 62, 79, 84,
 90~92, 115, 119~123, 141, 360
 「奴小万」 186
 「柳難諸島嶼」 426
 「藪入娘」
 112, 185~187, 190, 191, 337, 427
 →「嵐山」
 山下十兵衛 411
 山田案山子 430
 「山づくし」 232, 239
 「倭仮名色七文字」 420, 426
 「大和賢人(倭賢人)」
 107, 110, 111, 113, 249, 252, 253, 378
 →「七賢人」「雀をどり」
 「倭ふみ」 164
 山猫(山ねこ) 43, 80, 81
 山之内流 435
 山村友五郎(初代・舞扇斎吾斗)
 83, 296, 338, 346, 396, 411, 413
 山村流(山村) 10, 16, 44, 83, 292, 296,
 338, 368, 396, 399, 411, 415, 421, 429
 「山廻四季眺」 42
 山本春三郎 331
 「山姥」 10, 11, 12, 145, 185, 188, 191,
 240, 241, 329, 339~341, 397, 398

ゆ

「夕顔」 94, 99, 105, 110~112, 115, 162,
 169, 178, 181~183, 185, 191, 249, 253,
 378, 390, 429
 「夕顔ひょうたん踊」 250
 『幽花亭随筆』 49

「夕霧文書(夕霧文章)」
 83, 84, 115, 247, 248, 346, 368, 445
 遊女能 313, 337~339, 342, 346, 347,
 349, 350, 379
 「有職源氏」 189
 「夕そら」 416
 「由縁の月」 397, 398
 「雪」 397, 398
 「弓流し物語」 191, 381, 382, 384, 389
 「熊野」 340

よ

「楊貴妃」 187
 謡曲 10, 12, 63, 342, 388, 390
 →謡
 『雍州府志』 250
 陽明文庫 64, 65, 216
 『大会東一諷』 302, 388, 416, 417
 『大会吾妻諷』 416, 417
 吉井勇 22
 吉川一子 10, 44, 358
 吉川観方 271
 吉住彦兵衛 130~132
 吉田こと子 85
 吉田咲松 141
 吉田せい 116
 吉田千四 357, 360, 362, 445
 吉田千四(二代目)
 363~366, 369, 373, 390
 吉田辰五郎(初代) 367, 368
 吉田辰五郎(二代目) 366, 368~374
 吉田玉助(初代) 368, 372, 373
 吉田玉造(初代) 368, 371~373
 吉田ひさ 163
 吉田兵吉(初代) 366, 369, 370
 吉田兵吉(三代目)
 357, 360~365, 369, 373, 386, 390, 445
 吉田文三郎(二代目) 366
 吉田文三郎(三代目) 363, 364
 吉田八調 357, 360, 363, 367, 381, 445
 吉田八蟬(吉田辰治)
 366, 367, 369~374, 445

→豊松寿(重)五郎
 「義経千本桜」 185, 381, 385
 「義経弓流物語」 187
 「義仲勤功記」 361
 「吉野静」 186, 187, 190
 『よしの山』 277, 343, 420
 「吉野山」
 112, 191, 210, 382~385, 387, 390
 →「道行初音の旅」
 吉村ふじ 435
 吉村流 435
 「吉原雀」 240, 241
 「日本新玉九尾化」 427
 『夜音』 74, 232, 239
 『四方のはな』 98, 103, 109, 119

ら

頼山陽 77, 288
 頼梅麿 288
 『頼山陽全書』 288
 『洛陽勝覧』 266

り

りつは 323
 流石庵羽積 408

ろ

「老妓に聴く祇園の昔日」 152
 『籠耳集』 259, 260, 305
 六斎 238, 242
 六斎念仏 237, 239
 六条 74
 「六歌仙容彩」 299

わ

「我現時の六大舞踊派」
 13, 43, 205, 210, 312
 「若菜壳」 252
 「若菜摘み」 252
 「若菜の遊」 252
 「若女夫べに売」 184
 「若女夫紅粉売」 188, 189

「文やつこ」	188
『舞踏の花一名都おどり代々のしらべ』	140, 142
ふりつゝみ	347
古市 → 伊勢古市	
古井戸秀夫	374
『文献に顕はれたる祇園会に関する目録』	269, 272, 281, 285, 422
豊後節	365, 366, 369, 397
文楽 118, 119, 331, 360, 361, 367~369, 372, 380, 382, 383	
へ	
『平安人物志』	21, 52, 58~60, 80
『平安人物志短冊集影』	59
『臍の宿替』	413, 417, 419
「紅壳」	190, 191, 427
「部屋禿(室かむろ)」	9, 184
→「羽根突禿」	
「部屋(家)見舞」	145, 187, 188
変化舞踊	365, 369
ほ	
「法界坊」	191, 300, 362, 390, 415, 429
→「しのぶ壳」	
北条秀司	141, 142
「北州千歳寿」	189
『保古帖』	233, 330
補助博覧	145, 158
「蛭狩(蛭かり)」	185, 191, 284, 286, 426, 428
堀井仙助	331
盆踊 217, 237~239, 242, 258, 259, 304	
本行舞	313, 339~342, 350, 361, 381, 390, 430
本形舞囃子	162, 184, 336
本行物	383
「本朝廿四孝」	288, 358, 372
先斗町 10, 12, 98, 110, 115~117, 141, 158, 159, 163, 443, 446	
「先斗町お茶屋営業組合所蔵文書」	116, 163

ま	
「舞扇園の梅(蘭生梅)」	186~188, 425
→「蘭生梅」	
「舞扇名取月」	185, 189, 426
「舞子大曲馬」	233
舞さらえ(舞稽古さらえ)	29, 92, 93, 103, 104, 108, 122, 133, 182, 249, 250, 253, 389, 303, 407, 443, 445, 447
→稽古さらえ	
『舞さらへ』	99, 102, 248, 249, 293, 386, 388, 411, 412, 419, 423, 424, 435
『舞しらべ』	388, 412
「舞扇南柯夢」	283
「舞の名人」	6, 8, 41, 45
舞囃子	191, 217, 220
『舞ひとり稽古』	411
前西芳雄	221
横村正直	140, 141, 144, 149, 248
まくづ踊	146
「孫のみた井上流」	49, 50
「正月」	112, 133, 162, 185, 186, 190, 253
「ましら」	102, 113, 146, 185~188, 190, 253, 427
松岡すえ	163
「松風」	190, 318, 334
「松風村雨」	191, 362, 389, 429
松平進	268
「松づくし」	187, 190, 191
「松の羽衣」	341
→「羽衣」	
松の家	105, 108, 140, 141, 147, 156, 182, 249
「松虫(松むし)」	96, 99, 113, 133, 184, 191, 337, 340
→「虫の音」	
松本佐多(さだ・貞・定・あい)	7, 11, 12, 14, 15, 22, 51, 52, 170, 173, 178, 182, 268, 339, 349, 381
→井上佐多	
松本里鶴	161
松本よね	162

「俣の川」	162
万歳	217~220, 227
「万歳(万才)」	102, 113, 146, 162, 185, 190, 191, 253, 277 →「屠蘇万歳」
万享	43, 141, 153
→一力	
「万代姫」	361, 384, 385, 388
み	
「水鏡」	185, 188, 190, 191
水木菊之丞	275
『見世物研究』	230
『見世物雑誌』	233, 256, 257, 298, 377
三田村鳶魚	259, 260
「道行初音の旅」	382
→「吉野山」	
「道行比翼の菊蝶」	426
「三ツヶ浜黄金鶴」	190
「三ツのあさ(朝)」	92, 94, 96~98, 112, 133, 253
「三面椀久」	186, 191, 390, 429
南大路鶴江	62, 66, 67, 216
「慣ちよつと七化」	421
壬生狂言	299, 324, 421
宮川町	10, 116, 145, 158, 159, 166, 376, 434
三宅美代鶴(三代鶴)	151, 152, 161, 162
都をどり(都踊)	3, 6, 7, 18, 21, 25, 26, 28, 40, 43, 108, 109, 120, 121, 138, 140~150, 152~156, 158, 159, 162, 168, 193, 207, 248, 249, 253, 255, 304, 336, 358, 374, 407, 442, 444, 446, 448, 450
「都おどり鴨川おどり其他」	206
『都踊の歴史』	150, 153
「都踊略記」	149, 147
宮古路	409
「都玉づくし」	82, 83, 236, 242, 247, 325, 363, 373, 443, 444
「都土産錦の姿絵」	186
『都名所図会』	81, 235
『都林泉名勝図会』	261, 263, 278
宮島春斎	14, 15, 332

宮蘭	241, 409
宮蘭豊前	83
『宮蘭鸚鵡石』	83
宮野吐紅緑	270, 271, 281
みやび会	9, 10, 12, 14, 44, 206, 252, 304, 358, 359
「三輪」	63, 185, 191
美王丸	228~230
明清楽	163, 184, 336
む	
「昔嘶」	427
『無形文化財要覧』	5, 209, 210, 303
「虫の音」	113, 133, 183, 340
→「松虫」	
「娘景清八島日記」	366
「娘小町」	145, 186
「娘道成寺」	185, 186, 191, 278, 341, 420, 425
「娘七草」	95, 97, 98, 112, 186, 187, 189~191, 425
無聖楼主人	6, 8, 41
「陸奥土産しのぶ摺」	187, 189
武藤真	258
「村雨松風」	184, 186, 188
村田春門	83
村松利三郎	319
め	
「名家真相録片山春子」	14, 45, 51
『明治の女性たち』	49, 51, 136
「女夫松高砂丹前」	426
「和布刈」	102
「珍しい京舞一片山春子の米寿の舞の会の感想」	449
「目貫壳五斗」	186
「女夫松高砂丹前」	241
「面うり」	145
も	
「もさ順礼(茂三じゅんれい)」	189~191, 293, 390, 430, 435

360~362, 365, 369, 372~374, 381~383,
388~390, 399, 400, 445, 448
人形遣い 5, 24, 30, 211~213, 242, 273,
288, 327, 357, 359, 360, 362, 363, 366,
367, 369, 373, 374, 380, 381, 383, 386,
390, 448
人形頭取 → 頭取
人形ぶり(人形振り)
207, 211, 212, 359, 360, 379~383
ぬ
沼艸雨 397
ね
「ねざめ」 277
「鼠」 384, 389
→「子の日の遊」
「子の日の遊」 177, 182, 183, 192
→「鼠」「唐子」
「子の日の助六」 191
「寿(の)門松」 361, 389
→「吾妻与五郎」
「根引の松」 417
「閨(寝屋)の扇」
186, 191, 240, 241, 397, 398, 420
ねりもの 29, 233, 257, 260~268,
272~280, 282, 283, 286, 288, 289,
291~294, 296~304, 325, 332, 336, 338,
339, 389, 407, 421, 447
の
能・能楽・能狂言 5, 10, 12~17, 24, 26,
29, 30, 41~47, 84, 92, 145, 162, 163,
184, 191, 205~214, 217, 220, 223~227,
231, 237, 288, 311~313, 323~326,
328~331, 336~339, 341, 342, 345~350,
357, 360, 361, 380, 381, 395, 396,
398~400, 445, 448
野澤吉兵衛(二代目) 235, 236
野澤喜八郎 193
野澤庄治郎(七代目) 379
『後は昔物語』 322

野々村戒三 221, 322, 331
野間光辰 254
野村三次郎 212, 312, 313, 318~321,
324, 325, 399, 445, 447
野村柳吉 229, 230, 232
「法花四季台」 286, 426
は
『梅窓日記』 288
端唄・端歌 20, 114, 397
『葉哥花のしをり』 302
「はをりづま」 189
『博徒と自由民権』 42
「幕末の宮廷」 66, 218~220
博覧会 27, 249, 304, 444
→京都博覧会
「博覧新報」 145, 147, 151
「羽衣」 42, 184, 191, 341, 450
→「松の羽衣」
「橋弁慶」 164, 169, 175, 181~183, 190,
192, 340, 384, 389, 421
長谷川昇 42
「八陣守護城」 299
「鉢木」 273, 301, 318, 338
「八犬伝」錦絵総覧稿 432
「八犬伝評判楼閣」 297
八犬伝信野浜辺の段 434
八犬伝浜辺の段 434
「八朔梅月の面影」 189
服部仁 149, 432
「初音の旅」 381
「競伊勢物語」 361
「狭容形近江八景」 426
「花競四季寿」 385
「花競踊十三変化」 364, 365
「花車」 145, 176, 182, 184, 240, 241, 426
「花車岩井扇」 241, 426
花田雄吉 64, 65, 217
「花道成寺」 241
「花魁若八総」 186, 297, 430, 432, 434
「花の縁」 277
「花の旅」 111, 113, 189, 190

「英執着獅子」 345~347, 409
「花やっこ」 189
「羽根突禿(羽根の禿)」
101, 191, 254, 368, 425
→「部屋禿」
「浜松風」 411
林喜右衛門(七世) 220, 221
林小里 330, 331
林小元 330, 331
林寿三郎 330, 331
『林家略伝抄』 221
速水春曉齋 261, 265
「春色里の賑」 188
「春霞花王御所車」 366
「春雨」 9, 190
「春調娘七種(春(の)しらべ娘七草)」
188, 190, 425
「春の遊」 185, 190
「春の遊里の賑ひ」 189
「春の旅」 93, 99, 111, 113
「春昔由縁英」 425
坂東しうか(初代) 432
坂東寿太郎(初代) 295
坂東彦三郎(四代目) 297
坂東万蔵 274, 276
坂東三津五郎(三代目) 411, 420
ひ
「火桶」 185, 187, 190
東山月峰 280
東山名所跡 144~147, 153
「比丘尼」 111, 191, 427
→「伊勢詣」
「引くや袖妻(引屋袖妻)」
93, 99, 111, 185, 191, 253, 427
→「おばなが袖」
「ひげ奴」 185
→「扇奴」
肥田皓三 262
「日高川」 186, 187
秀磨 → 喜多川秀磨
『一目千軒』 259

「一人槐久」 191
「ひな鶴」 415
「雛鶴三番叟」 161
『日次紀事』 260
檜木禎次郎 319
『日出新聞』 150
→『京都日出新聞』
「猩々」 340
「姫三社」 185, 191, 427
→「姫三社」
「双紋廓錦絵」 296
「日吉丸稚桜」 361, 364, 385, 388
平岡こま 386
「ひらかな盛衰記」 383, 385, 386
平野健次 20, 105, 342, 414, 418
広貞 → 五糒亭広貞
ふ
『風俗研究』 15, 16, 19, 46
「風流三番叟」 188
舞楽 217, 220, 227, 231, 244
斧鑿散史 206
藤蔭静樹 404
藤川友吉(初代) 278
藤川友吉(二代目) 300, 421
藤本梅翁 140
藤田東湖 134
「富士太鼓」 188, 240, 241
藤間勘十郎 366, 411
藤間流(藤間) 16, 396, 415
「富士見奴」
170, 181, 183, 184, 191, 384, 389
→「道中富士見奴」
「藤娘」 297, 422~424
婦女職工引立会社
155, 156, 159~161, 444
『婦人友友』 44, 47, 49, 51, 136
舞扇斎吾斗 → 山村友五郎(初代)
仏陀居寺 57
仏陀寺 58, 59, 124
「文づかひ」 189
「文月子供あそび」, 185

つ
月待ち(月待信仰) 243, 447
附博覧 144~147, 156, 158, 159
辻梅松 161
常次郎 → 井上常次郎
『経熙公記』 64, 65, 219
「摂津国長柄人柱」 194, 361, 385
坪内逍遙 6, 8, 10, 12~15, 24, 43, 46,
165, 205, 207, 210, 312, 358, 360, 361,
379~381, 395, 396, 398, 406, 435
「荅の八(ツ)房」 94, 98, 112, 173, 182,
183, 188, 192, 253, 298 → 「信乃」
津山検校 83
「露の蝶」 187, 191, 416
「釣狐」 179, 182, 184, 323
鶴岡俊 162
「鶴亀」 164, 340
鶴澤友次郎(五代目) 360, 379
「連れ連れ座頭」 389, 430

て
「出口の柳」 96, 98, 112, 113, 176, 181, 185, 190, 253
「でっち」 145
「手習子」 184, 186, 188, 190, 191, 420, 426
天爾波狂言 331
「手毬哥十二月」 187
→ 「十二月」
照葉狂言 330, 331
『伝奇作書』 282
天狗党 134~136
「天満宮花梅桜松」 299, 421, 427

と
戸板康二 182
東三流 42
藤舎呂船(四代目) 193
「道成寺」 189, 283, 286, 296, 318, 323,
334, 341, 342
『当世芝居氣質』 400

「道中富士見奴」 188
→ 「富士見奴」
頭取 366, 367, 372, 374
『道八芸談』 374
堂本印象 22
堂本寒星 14, 15, 22, 48, 49, 51, 52, 58,
61, 91, 92, 142, 251, 252
『兎園小説』 219
「融汐汲」 284, 294
常磐津 19~21, 112, 253, 292, 300, 301,
397, 409, 412, 341
常磐津林中 450
禿氏祐祥 284
「屠蘇万歳」 113, 185, 186, 191, 384, 385, 388
→ 「万歳」
殿田良作 330, 331
「鳥羽絵」 412
富永町 266, 269, 273~276
富本 292, 366
豊国 → 歌川豊国
豊竹上野少掾 193
豊竹ともへ 377
豊竹巴山 377
豊竹山城少掾 192
豊松寿(重)五郎 366, 367, 371, 372
→ 吉田八蝶
「鳥追」 189, 191, 427

な
長唄 10, 19~21, 102, 111~113, 152,
161, 163, 237, 239, 241, 251, 253, 257,
285, 286, 301, 337, 340, 341, 365, 366,
369, 397
中江菊勇 163
中尾霞生 41
中島棕隠 248, 254, 261, 266
長谷信篤 140, 144
中出明文 269, 270, 278, 280, 282, 285
中野源松 374
長秀 → 有楽斎長秀
中村歌右衛門(三代目・梅玉) 103, 241,

282, 289, 291, 299, 365, 366, 411, 420,
421, 428 → 中村芝翫(初代)
中村歌右衛門(四代目) 299
→ 中村芝翫(二代目)
中村歌六(初代) 299
中村喜代三 274, 276
中村芝翫(二代目) 296, 299, 422
→ 中村歌右衛門(四代目)
中村芝翫(四代目) 268, 407
中村芝翫(初代) 288
→ 中村歌右衛門(三代目)
中村士口 415
中村富士郎(初代・慶子) 272~274, 276, 409, 420
中村富士郎(二代目・三光) 287, 288, 291, 296, 301, 302
→ 中村松江(三代目)
中村仲藏(初代) 389, 408
中村のしほ(三代目) 283
中村松江(三代目) 291, 300, 421
→ 中村富士郎(二代目)
中村弥三郎 319
中村露香 269, 272
中山金七 411
長山孔寅 83
「長刀八島」 185, 191, 340, 342, 350
→ 「八島」
慰事 242
「菜種の乱咲」 384, 389
→ 「菜種の紋日」
「菜種の紋日」 172, 182~184, 193
→ 「菜種の乱咲」
「夏のつき」 185
名取 14, 39, 45, 110, 115, 117, 121~124,
363, 443, 445
「名取川」 338
名取式 14, 39, 90, 92, 105, 117, 123, 443, 445
「名取月」 191, 426
「七つ子」 189
→ 「おちや乳人」
『浪速叢書』 337

「葉の葉」 185, 187, 191, 416
「鍋八撥」 176, 182, 183, 427
並木宗助 193
「浪枕月の浅妻」 185, 162
「業平」 421
「業平吾妻下り」 186
「業平餅」 96~98, 113, 188, 190, 191,
253, 335, 389, 430
『南総里見八犬伝』 297, 430, 431, 434
南地(大阪) 435
南陽舎 162

に

西川伊三郎 367
西川扇蔵 367
西沢一鳳 258, 430, 432
『西澤一鳳貼込帖』 83
西山翠嶂 22
西山松之助 401
「廿四孝八重垣姫」 187
二十六夜待 243
「拙筆力七以呂波」 428
二丁鼓(二挺鼓) 102, 232, 257, 258, 329
「日本新玉九尾化」 290
『日本の舞踊』 7, 24
『日本舞踊曲集成②京舞・上方舞編』 8, 23
「日本舞踊の現在及将来」 6, 12, 43, 395, 398
女紅場(女工場) 9~12, 15, 20, 43, 142,
156, 159~161, 164, 166~168, 193, 311,
444 → 八坂女紅場
女紅場教師 311, 446
「女紅場記録」 161
「俄獅子」 96~98, 106, 110, 111, 113,
187, 190, 191, 249, 251, 253, 419, 427,
449
人形 13~15, 17, 24, 26, 43, 46, 47, 92,
207, 210~212, 358, 365~367, 374, 381,
382, 395
人形浄瑠璃 4, 5, 13, 16, 29, 30, 42, 46,
84, 205, 208~214, 288, 298, 357,

259, 268, 302, 378, 446
「島原のおどり場」 259
島本久恵 21, 44, 47, 49, 51, 58, 62,
80, 84~86, 90~92, 117, 121~124,
130~137, 141, 153, 360
「七五三甕宝曾我」 403
下河原(下川原) 29, 80, 81, 98, 104,
144~147, 153, 159, 234, 235, 300, 447
下橋敬長 218, 66
「石橋」 10, 11, 12, 44, 184, 186, 188, 190,
191, 287, 290, 334, 338, 340~342,
346~350, 409
「しゃべり山姥」 190, 191, 382~385,
387, 388, 412, 415, 417
→「姫山姥」「八重桐」
「三味線問答」 408
「拾遺都名所図会」 261, 265~267
「十二月」 188, 189, 191, 426, 427
→「手毬哥十二月」
重要無形文化財 3, 5, 25, 48, 192, 209, 210, 450
「宗論」 328
→「哥宗論」
「朱鐘馗」 421
「出世奴」 361
「出世握虎稚物語」 361
「猩々」 340
「正尊」 323
「松竹梅」 417
浄瑠璃 10, 63, 102, 161~163, 184, 217,
235~237, 241, 242, 244, 282, 297, 298,
359, 362, 381, 384~387, 405, 447
「浄瑠璃五行抜本目録」 385
『諸芸人名録』 403
『諸国図会年中行事大成』 261, 265
白木梅由 161
白拍子・白拍子舞 29, 50, 212, 244, 256, 265, 360
「白拍子」 102, 103, 186, 254
素人浄瑠璃 236, 298, 362, 374, 385, 400
「白酒売」 92, 93, 95, 101, 111, 184, 187,
189, 190, 191, 254, 427

『新うたのはやし』 299
「新狂乱」 102, 254
真月樺尼 91, 92
→井上八千代(二世)
「新子守」 191, 427
「新石橋」 187
「心中盟の噂」 427
『新小説』 6, 12, 43, 205, 210
信次郎 228~231
『新撰京都叢書』 322
『新增吾妻しらべ』 302
進藤竹勇 311

す

『粹弁当』 329, 412
素謡 220, 322
「末広」 328, 333
杉浦丘園 281
杉浦治郎右衛門 140, 141, 153, 159
「助六廓通」 187, 191
「すしや」 382
素浄瑠璃 30, 103, 298, 379, 385, 448
鈴木万里 365, 408, 409
「雀遊び」 107, 110, 113, 249, 252, 253
「雀をどり」 110, 252, 253
→「七賢人」「大和賢人」
「隅田川続傳(後日の傳)」
189, 364, 365, 428
「住吉四社乃姫松」 189

せ

清寿院(名古屋) 325, 326, 377
「世界」 102
瀬川菊之丞(二代目) 275, 285
瀬川路考(三代目) 285
関三十郎(二代目) 422~424
『摂陽奇観』 230, 242, 255, 292, 293, 298,
299, 375, 390, 409
「仙家の菊水」 187
仙助能 336
『全盛糸の音色』 97, 98, 109, 118, 378
「全盛虎女石」 286

仙洞御所 16, 29, 42, 46, 61, 62, 67, 69,
85, 221, 223, 224, 226, 227, 233
「千本桜」 93, 97, 112, 253
「千本桜初音の旅」 188
「千本桜道行」 190, 415

そ

「箏の林」 72~74, 232
「増補兜軍記」 383
『増補華洛細見図会』 267
『続諸家人物志』 60
「袖香炉」 10, 44, 186, 188, 191, 249, 416
「袖の露」
168, 174, 181, 182, 185, 186, 190, 191
藺久右衛門 323
「園生梅」 95, 97, 112, 191, 425
→「舞扇園生梅」
「そめいろづくし」 423, 424
『染太夫一代記』 372, 376, 377
「染模様妹背門松」 384~386

た

大頭・大頭舞 13, 29, 42, 244, 357
『大全東の一節』 410, 411
「大内裏大友真鳥」 298, 361, 384, 385
『高木在中日記』 324
「高砂」 96~98, 337, 338
「高砂丹前」 113, 188, 191, 240, 241, 253,
291, 337, 426
高田(鷹多)さと(里)(千代葉)
43, 117~125
高橋八重(八重子) 9, 11, 164
→井上八重
高原慶三 182, 183, 251, 449
高谷伸 49, 52, 142
竹内誠 401
竹澤弥七(十代目) 193
武田耕雲斎 134
竹本綱大夫(八代目) 193
竹本弥太夫(五代目) 378
「たそがれ」 277
「龍田」 161, 162, 185, 191

「伊達競信田の蘭菊」 186
「伊達娘恋緋鹿子」 186, 188, 389
「伊達奴(達奴)」 145, 206, 389, 430
田中咲松 109
田中緑紅 21, 48, 49, 52, 59, 80, 81, 84,
90~92, 142, 146, 147, 153, 154, 260,
264, 269~275, 278~280, 284~289,
294, 297, 299~302, 332, 335, 434
谷清好 83
谷崎潤一郎 22
「狸(たぬき)」 139, 170, 182, 183, 192
「種蒔三番叟(種蒔)」 240, 241
田畑与平 165
玉うの 101~104, 116
→岩佐うの
「玉川」 94, 97, 112, 171, 181
「玉椿千代寿」 52
玉椿の八千代 42, 62, 63
「玉取(珠取)海士(海人)」 146, 187, 188,
190, 340, 397, 398 →「海士」
「玉水」 94, 97, 98, 112, 113
「田村」 175, 181, 183, 185, 192, 381, 382
→「もさ順礼」
「櫛拾い」 145
「丹頂」 169, 174, 181, 182, 184
「丹頂の鶴」 42, 164, 190
「檀浦兜軍記」 161, 162

ち

近松東南 83
近松徳三 155
近松門左衛門(巢林) 83, 241, 358
「竹生鳥」 191, 162, 186, 336
「竹林遊雀おとり」 →「雀をどり」
「茶おんど」 162
「中将姫古跡の松」 162
「忠臣蔵」 282, 287, 288
「千代」 102
「千代の梅香」 146
「千代の友」 9, 11, 12, 44
千代葉 →高田さと
チリカラ連 242, 409, 411

稽古さらえ 254, 304
 →舞さらえ
 『稽古三弦』 404, 407
 景事 4, 365, 366
 『京師順見記』 80
 「けいせい錦帯橋」 284
 「けいせい廓花寄」 275, 276
 「傾城高尾後力弥」 172, 182, 184
 「傾城稚児淵」 291
 「けいせい筑紫嶽」 283, 287
 「傾城反魂香」 296, 422
 「懸想文」 187, 302
 『弦曲粹弁当』 →『粹弁当』
 「源氏ひな遊」 190
 「絃上」 318, 319
 「源太」 412
 →「簞源太」
 こ
 湖出市三郎 365, 369, 372
 湖出市十郎 370
 「小さな半兵衛近江八景」
 →「近江八景」
 「恋女房染分手綱」 331
 「恋重荷」 338, 346
 「恋の緋鹿子」 96, 98, 112, 171, 182, 183,
 192, 253 →「お七」「櫓のお七」
 甲乙廻し 329
 『好色二代男』 259
 小唄 114, 397
 『小唄打聞』 299
 紅葉館(芝) 142
 高力猿猴庵(種信) 325, 328, 329
 「小鍛冶」 332, 335
 『古今端唄大全』 342
 『国書人名辞典』 60
 「国性爺合戦」 291
 国立劇場 7, 24, 26, 396
 『国立劇場上演資料集〈別冊〉舞の会—
 京阪の座敷舞』 8
 「御所車」 188, 191
 五粽亭広貞 433

「小袖物狂ひ」 190
 小寺融吉 258, 401, 406
 「寿」 168, 174, 181, 186, 191
 「寿の邯鄲」 →「邯鄲」
 近衛篤磨 65
 近衛内前 63
 近衛忠熙
 63~65, 217, 220, 222, 223, 231, 232
 近衛経熙
 63~65, 71, 74, 216, 228, 234, 237
 近衛基前
 63~66, 217, 219, 220, 223, 228, 231, 234
 近衛家 13, 16, 29, 43~46, 62~64,
 67~69, 71, 72, 74~76, 78~80, 84, 91,
 92, 209, 212, 213, 216, 217, 219, 220,
 223, 225~231, 235~237, 242~244,
 247, 442, 443, 447
 小林しづ 11
 小林てる 163
 「こま尽」 240
 駒宮歌菊 161, 162
 「姫山姥(子持ち山姥)」
 145, 185, 186, 189, 240, 241, 361, 385
 →「しゃべり山姥」「八重桐」
 「子守」 102, 184, 185, 187, 190, 191, 427
 小山源治 270, 272
 金剛流 14, 16, 42, 44~47, 162, 212, 312,
 313, 320, 321, 325, 357, 381, 445, 447
 さ
 斎内ひろ 94, 98, 99, 102, 103, 105, 109,
 115~117, 123, 139, 170, 249, 253
 →井上ひろ
 裁花園翠竹 155
 『西京新聞』 163
 『西京伝新記』 40, 41, 161, 162
 斉藤雅美 7, 23, 26
 榊山小四郎(三代目) 273
 榊山四郎太郎(三代目) 273
 「相模あま(海人・海士・蟹)」
 145, 184, 187~191, 295, 415, 421, 427
 坂本清泉 159

坂本智恵子 166
 「酒屋」 382
 「鷺」 97, 113, 253, 337
 「咲揃ふ」 146
 「鷺娘」 113, 188, 191, 253, 337, 362, 426
 「桜子」 186, 188
 桜田治助(初代) 286
 佐佐木登良治 161
 座敷舞 10, 84, 114, 212, 213, 278, 303,
 304, 395~397
 『佐多女聞書』 22
 『佐多女芸談』 22, 51, 381
 貞芳 →歌川貞芳
 「座頭」 421
 佐藤くに 368
 佐渡島佐右衛門 411
 「里のてまりうた」 190
 「里のゆかり」 185
 「さのや」 427
 「さらし」 145, 186, 189, 190
 「晒三番叟」 188, 191, 426
 沢井助三郎 220~223
 「三ヶ津太夫三味線人形見競附」 367
 三弦・三絃 147, 148, 267
 「三国一」 186, 189, 191, 299, 397, 398,
 421, 427, 428
 『三七全伝南柯夢』 283
 「三十石燈始」 273
 「三社」 185, 427
 →「姫三社」
 『三世井上八千代—京舞井上流家元・祇
 園の女風土記—』 7, 22, 48, 50
 「三都太夫三味線人形見競鏡」 367
 「三人片輪」 328
 「三番叟」
 42, 102, 145, 146, 162, 328, 332, 415, 450
 し
 地歌・地唄 12, 21, 83, 84, 110,
 111~114, 162, 163, 184, 212, 241, 242,
 248~250, 253, 254, 277, 278, 288, 299,
 303, 328, 329, 336~338, 340~342,

345~350, 377, 378, 381, 390, 395, 397,
 398, 409, 412, 415
 地唄舞 114, 278, 304, 360, 397
 「汐汲(汐汲海女・汐汲松風)」
 187, 189~191, 294, 362, 411, 426
 「塩衣須磨佛」 429
 地方 18~21, 28, 134, 152, 161, 192,
 232, 257, 331, 358, 362
 「式三番叟(式三番三)」 189, 328
 式亭三馬 401, 404
 「四季の海士(海女)」
 102, 113, 185, 191, 253, 427
 「四季さらしめ」 186
 「四社(四社にあります)」 191, 329
 「四条八景」 72~75, 232
 「浅の七々草」 186
 「七賢人」 110, 113, 252, 253, 389, 430
 →「大和賢人」「雀をどり」
 「七字の花在姿絵」 425
 「七福神」 185, 191
 「七福神茶摘遊」 145
 七変化・七変化所作事 241, 365, 366
 「七変化花の姿絵」 366
 「七枚続花の姿絵」 411, 426, 429
 「仕丁」 292
 『実語教』 273
 「信乃」 112, 115, 145, 191, 297~299,
 361, 390, 430, 431, 434, 435
 →「苔の八房」
 篠塚流(篠塚) 8, 42, 43, 79, 103, 104,
 116, 119, 141, 142, 152, 399, 415, 449
 篠塚文三郎 43, 103, 116
 「しのぶ売」 427, 428
 →「法界坊」
 「垣衣恋写絵」 408, 428, 429
 「しのぶ豆四郎」 361
 芝のお伝 375~377
 「地はやし」 240, 241
 仕舞 237, 227
 仕舞さらへ興行 338
 島橋辰之助 162
 島原 10, 29, 80, 81, 142, 159, 160, 258,

「通ふ神」 189, 191, 415
 『花洛羽津根』 320, 322, 324
 「唐子(唐子遊び)」 188, 191, 427
 →「子の日の遊」
 「仮初の傾城」 241, 420, 421
 『花柳』 41, 164, 311
 『画林』 6, 8, 41, 45
 川合玉堂 22
 河井醉茗 51
 河合眞澄 382, 432
 川端龍子 22
 「寛延以降地歌唄本総合索引 曲名索引」 414
 「関西の舞踊」 8, 41~44, 49, 57, 61, 91, 312, 357, 368
 神崎恵舞 368
 神崎流 368
 「巖上亀」 164
 「勸進帳」 397
 観世織部 225~227
 観世流 5, 14, 17, 44, 46, 319~321, 335, 336, 381, 396
 「観世累華家譜」 225
 「邯鄲」 40, 94, 99, 112, 161, 162, 172, 182, 184~186, 188, 190~192, 210, 318, 319, 338~341, 383
 き
 「鬼一法眼三略巻」 389
 祇園(祇園新地) 3, 9, 12, 17, 21, 22, 25, 28, 29, 31, 40, 41, 43, 46, 81, 97~99, 103, 104, 110, 116, 118, 119, 140~142, 144~147, 151, 153, 154, 159~163, 165, 166, 168, 192, 193, 207, 233, 234, 258, 260, 263, 268, 278, 280, 282, 302, 303, 326, 327, 332, 336, 362, 375~378, 407, 444, 446
 『ぎをん』 7, 21, 48, 49, 269~271
 祇園会 260, 263, 266, 269, 279, 297, 298, 304, 324, 376, 447
 祇園甲部歌舞会 7, 21, 48, 269
 「祇園細見玉づくし上」 257, 327, 376

『祇園ねりもの』 257, 269, 272, 281, 284, 296, 299
 祇園町 80, 85, 120, 122, 145, 156, 262, 265, 266, 269, 273, 275, 311, 326, 375, 378
 『きおん町同しんちねりもの名付列絵』 262, 269, 279
 「祇園町と都師の沿革」 149
 『祇園祭ねりもの』 272, 269, 274, 280, 285, 288, 299
 「祇園御輿ねり物角力見立評判」 280
 「きおん社みこし洗ねりもの子共ねり行体」 260, 269
 「菊慈童」 287, 288, 340, 361, 383
 菊永検校 83
 「菊の露」 168, 174, 181, 182, 187, 191, 397, 398
 『技芸倶楽部』 206
 『綺語文章』 258
 如月青子 303
 喜多川秀磨 286
 北川博子 260~262, 264, 278, 280, 283, 286, 293
 北新地(京都) 158
 北新地(大阪) 268
 北野(京都) 159, 302
 「北野まふて」 185
 北村はつ 11
 義太夫(義太夫節) 23, 26, 47, 110~113, 182, 183, 192, 249, 252, 253, 292, 298, 301, 303, 340, 358, 359, 361, 362, 365, 366, 374, 375, 377, 378, 383, 384, 390, 397, 412
 義太夫芸妓 21, 192, 249, 298, 362, 448, 449
 『義太夫執心録』 375
 『橘窓自語』 260
 「砦の里」 390, 430
 杵屋六左衛門(九代目) 286
 杵屋正六 370
 木村まさ(政子) 9, 11, 164
 →井上まさ

「九州釣鐘岬」 408, 420
 『狂歌き・徳利』 280
 『俠客原田常吉』 41
 「狂歌木廼花日記草稿一解説と翻刻一」 149
 「京鹿子娘道成寺」 365, 408, 420, 425
 京観世 322, 323
 狂言 227, 322, 328, 338
 教授法 9, 13, 43, 398
 『郷土趣味』 52
 『京都新聞』 23, 156, 161
 「京都賑見立」 153
 『京都日日新聞』 152
 「京都の演芸界・舞曲」 15, 332
 京都博覧会 143, 144, 156~158
 →博覧会
 「京都博覧会沿革誌」 144, 155
 「京都博覧会と都師の始まり」 18
 『京都博覧協会史略』 143, 156
 『京都日出新聞』 14, 44~46, 49, 59, 62, 122, 125, 141 →『日出新聞』
 『京都府遊廓由緒』 81
 『郷土舞踊と盆踊』 259
 『京都先斗町遊廓記録』 147
 『京都町触集成』 84, 302
 『京の舞踊』 21, 48, 49, 52, 146
 「京舞」(論文名) 15
 「京舞」(戯曲名) 141, 142
 『京舞』(書名) 23
 『京舞井上流歌集』 7, 19, 20, 23, 26, 24, 110, 111, 113, 114, 183, 192, 252, 302, 340, 344, 384, 425, 427, 430
 「京舞井上流史」 7, 21, 23, 48, 49, 121, 140
 「京舞井上流のことども」 17, 46, 49
 「京舞井上流の特色一人形ぶりを中心に一」 23, 211
 「京舞篠塚流と井上流」 48, 49
 『京舞名匠佐多女芸談』
 →『佐多女芸談』
 「狂乱」 185, 186, 191, 427, 428
 「狂乱雲居の袖(雲井袖)」 182, 425

→「雲井の狂乱」
 曲亭馬琴 81, 283, 297, 430, 431
 曲馬 217, 227, 228, 230~233, 237, 239, 244, 447
 清元 20, 412
 桐竹紋十郎(初代) 8, 367, 368, 372, 373
 『鞠旅漫録』 81
 「金花山雪曙」 297
 『吟曲古今大全』 342
 『琴曲千代の寿』 343
 『近世人名辞典』 280
 『琴線唱歌の糸』 277, 343
 『近代歌舞伎年表』 434, 449
 『近代日本の女性史 五 芸道の花開くとき』 50
 禁裏 16, 45, 61, 62, 67
 禁裏能 221, 225, 313, 318, 320, 324, 447

く

「空也堂」 361
 「草かり」 102, 113, 253
 「ぐち」 397, 398
 「口切」 95, 99, 112
 国芳 →歌川国芳
 久保田金襴 207
 熊倉功夫 401
 「隈取安宅松」 187
 「熊野」 161, 162, 185, 191, 340
 「雲井の狂乱」 182, 425
 →「狂乱雲居の袖」
 「雲井の袖」 181~183
 「雲井の袖吹雪の狂乱」 170
 「蜘蛛切剣の威光」 187
 「鞍馬獅子」 93, 97, 111, 182, 186, 191, 427
 『廓の花』 40
 「黒髪」 187, 190, 397, 398, 416

け

『桂園遺稿』 76, 78, 247, 368
 『桂園一枝』 77
 芸子おとり興行 233, 257

江馬務 16, 19
『演芸画報』 14, 15, 17, 43, 46, 130, 206, 207, 332, 357, 358, 435, 449
『演芸画報・人物誌』 182
猿猴庵 → 高力猿猴庵
『猿猴庵日記』 230, 232, 295, 325
『門台院殿御日記』 64, 65, 67, 69, 75, 216, 218, 221, 225, 229, 243
門台院宮董子 63~66, 68~71, 74~76, 216, 217, 221~223, 228, 229, 231~234, 243
遠藤保子 7, 22, 24, 48, 50, 52, 59, 91, 99, 131, 135, 137, 138, 142, 145, 153, 162, 163
「縁の綱」 186, 189, 190

お
「扇奴」 190, 427
→ 「ひげ奴」
『鳴東四時雑詠』 248, 254, 255, 261, 266, 268
「近江八景」 187, 191, 426
大江玄圃(資衡) 60, 61
大江德基(井上敬輔) 59, 60
→ 井上敬輔
大江藍田(維翰) 60
『大阪朝日新聞』 6, 8, 9, 13, 14, 41, 42, 46, 49, 57, 61, 84, 91, 92, 118~120, 122, 141, 312, 357, 358, 367, 368
大阪合同(株式)会社 17, 19
大島得郎 183, 206
大田南畝 83
「大友真鳥」 297, 298, 358
岡田元吉 220, 222
小川吉太郎(初代) 274, 276
「翁」 188, 191, 328, 332, 337, 338, 340, 361
沖野安良 271
置屋 97~99, 103, 104, 109, 257, 264, 282, 287, 292, 327, 377, 378
置屋名 108, 257, 287, 292, 327, 377
お狂言師 404, 405

奥文鳴 263
「奥女中花見遊興」 187
「小栗曲馬物語」 361, 381, 383~385, 388
「小栗判官車街道」 383
「桶取」 93, 111, 116, 185, 191, 299, 421
小笹喜三 59
「幼遊ひ」 187
「おさな遊紅葉売」 186, 188
小沢蘆庵 77
「お七」 112, 191, 361, 380~382, 384, 389
→ 「櫓のお七」「恋の緋鹿子」
「遅桜手爾葉七字」 241, 420, 427
「お柴久松」 145, 361, 385
→ 「妹背の門松」
「おちや乳人」 95, 99, 112, 190, 328, 329
→ 「七つ子」
『をどり通』 406
「お夏(お夏狂乱)」 146, 187, 190, 191, 386, 426
「おなつ菜種物狂ひ」 190
「おなつ乱咲思の菊蝶」 186, 188
小野武雄 219
尾上菊五郎(六代目) 206
尾上新七(二代目) 284
尾上多見藏(二代目) 373
尾上梅幸(六代目) 206
尾上紋太郎(初代) 273
「おばなが袖」 185
→ 「引くや袖妻」
小原源一郎 23
「お光(お光狂乱)」 186~191, 412, 427
お八千 66, 68~72, 76, 78, 220~222, 224, 226, 227
温習会 6, 11, 18, 40, 103, 116, 146, 147, 153, 161, 162, 184, 190, 191, 251~253, 304, 325, 336, 338, 379, 434, 446, 449
「御田」 335, 336, 389, 430
女義太夫 298, 375~379
女曲馬 230
「御名残押絵交張」 427
「女猿曳門出瀧」 301
「女手前」 250, 429

女能 295, 326, 328~330, 332, 339, 342, 349
女舞 4, 26, 29, 209, 210, 295
『女謡曲採要集』 295, 325, 328, 330~332, 336, 338, 339, 349

か
「哥へす〜余波大津絵」 422
顔見世・顔見世狂言 273, 282, 291, 292
「加賀の千代」 187
「鏡獅子」 347
「鏡餅」 164
香川景樹 76~78, 444
香川景樹(梅月堂) 76~78
『歌曲時習考』 83, 277, 343, 344, 412, 421
「花月」 389
「鹿島踊(加島踊)」 93, 111, 185, 189, 240, 241, 409, 426, 428
可笑(勝川春扇) 286
霞生 49, 357, 367
かたばみや 241
片山九郎右衛門(三世・豊正・慶助) 220, 221, 223
片山九郎右衛門(四世・豊泰・新助) 220, 221, 323
片山九郎右衛門(五世・豊尚) 319, 320
片山慶次郎 7, 20, 21, 23, 48~51, 140, 211, 213
片山晋三(九郎三郎・六世) 17, 22, 43, 45, 137, 138, 145, 162, 163, 311, 312, 319, 336
片山豊子 137, 138
片山春子(春・はる) → 井上八千代(三世)
片山秀三郎 331
片山博通 7, 12, 15, 16, 20~24, 28, 44, 46~52, 59, 61~63, 78~80, 84, 86, 90~92, 116, 117, 121, 123~125, 130, 132~138, 152, 193, 210, 211, 213, 298, 312, 360~363, 365, 373, 389, 430, 431
片山光子 15, 137, 138
「片山家系図」 137

「片山春子—九十九の舞」(「九十九の舞」) 21, 44, 47, 49, 122, 136, 141, 360
『甲子雑録』 99
「門松」 415
金森惣右衛門 331
「鉄輪」 187, 189, 191, 210, 339~341, 350, 397, 398, 414, 417
「鐘が叩」 409, 420
兼清正徳 76, 78
金子吉左衛門 260, 262
金子静枝 150
「兼道」 145, 187, 191, 297~299, 358, 361, 384, 385, 389
叶雛助(三代目) 319, 320, 399
叶珉子(初代) 282, 283
→ 嵐小六(四代目)
「かのご猿(鹿の子猿)」 178, 182, 183, 187, 189, 191, 192, 389, 429
歌舞伎 14, 16, 23, 30, 211, 213, 214, 237, 268, 273, 276~278, 282~284, 286, 287, 289, 292, 295, 297, 301, 338, 345, 347, 349, 364~366, 383, 390, 395, 396, 398~402, 404~409, 411
歌舞伎舞踊 206, 303, 345, 360, 362, 379, 380, 383
歌舞伎役者 292, 320, 398
歌舞練場 10, 40, 155, 156, 161, 163, 167, 252
『歌舞練場温習会番組』 161, 163, 184, 251
『上方』 15~17, 46, 49
上方唄 20~23, 110~114, 183, 249, 286, 291, 298, 299, 301, 337, 397, 409
上方歌舞伎 395
『上方芸能の研究』 49
上方端唄 329
上方舞 26, 83, 303, 304, 396~399
「上方舞のはなし」 49
上七軒 10, 158, 159, 434
亀の子踊 153, 154, 442
「加茂御田」 301
「通小町」 334, 332

『伊勢古市のこぼれ話』 154
 「伊勢参り」 92, 95, 99, 111
 「伊勢詣」 189
 →「比丘尼」
 「伊勢もふて娘の旅路」 186, 188
 板谷徹 402
 市居うの 116, 162, 163, 192
 市川九米八 403
 市川小団次 373
 市川団十郎(七代目) 320
 市川団藏(四代目) 365, 408
 市川団藏(五代目) 289
 「一谷嫩軍記」 288
 市村羽左衛門(十三代目) 432
 市山七三郎 411
 一力 140, 141, 155, 159, 267, 268
 →万亭
 一中節 341, 397
 『糸のしらべ』 250, 277, 343, 344, 412
 『糸の節』 277, 343, 412~414
 「田舎源氏紅葉の賀」 189, 251
 「田舎源氏若菜つみ」 187, 251
 「田舎源氏若菜の遊」 106, 110, 111, 113, 249, 251, 253
 「田舎巫子(神子)」 93, 111, 146, 186, 189~191, 425
 井上吉兵衛 136~138
 井上玉蓮(玉蓮尼) 43, 76~78, 83, 85, 86, 247, 443
 →井上八千代(初世)
 井上敬輔(敬助・敬介・慶助・啓助) 42, 43, 45, 58~61, 76~80, 90~92, 222, 247, 443, 444 →大江徳基
 井上佐多 182
 →松本佐多
 井上甚之助 22
 井上常次(治)郎 99, 102, 103, 115~117, 123, 168, 174, 181
 井上つる 367, 368, 373
 井上はる・葩留・春子
 →井上八千代(三世)
 井上ひろ 116, 442

 →斎内ひろ
 井上まさ 164
 →木村まさ
 井上松造 136, 137
 井上みよ(見代、美代、みよ子) 136~139, 169, 170, 174, 176, 178, 181, 182, 443
 井上八重 164
 →高橋八重
 井上八千代(初世) 14, 16, 21, 24, 26~29, 41, 42, 45~47, 50~52, 57, 58, 60~64, 66, 68~69, 72, 75~80, 82, 84, 85, 90~92, 114, 115, 121, 125, 132, 133, 181, 182, 191, 193, 209, 212, 213, 216, 227, 231, 244, 247, 248, 298, 312, 313, 340~342, 350, 357, 360, 361, 363, 368, 381~385, 395, 425~427, 429, 430, 442~445, 447 →井上玉蓮
 井上八千代(二世) 4, 5, 17, 21, 25~28, 42, 43, 45, 46, 51, 52, 61, 75, 78~80, 82, 84~86, 90~92, 103, 105, 109, 110, 114, 117~125, 131, 132, 138, 139, 146, 163, 168, 181~184, 191~193, 212, 244, 248, 298, 312, 313, 325, 336, 337, 340~342, 350, 360, 361, 363, 368, 373, 381, 383~385, 395, 425~427, 429, 430, 442, 443, 445 →真月禪尼
 井上八千代(三世) 5~18, 21~28, 40~48, 50~52, 78, 79, 86, 92, 96, 98, 99, 105, 109, 114~118, 120~123, 125, 130~146, 152, 153, 162~164, 168, 181, 182, 184, 191~193, 205, 207, 211, 213, 248, 249, 268, 304, 311, 312, 319, 336, 339~341, 349, 350, 359, 360, 367, 373, 374, 379, 380, 381, 395, 425, 426, 429, 442~446, 450, 451
 井上八千代(四世) 3, 7, 12, 14, 19, 20, 22, 23, 26, 48, 50~52, 139, 152, 193, 207, 208, 211~213, 253, 268, 303, 339, 340, 360, 381, 382, 395, 396, 422, 425, 451
 井上八千代(五世) 50, 51

井上屋・井上や 97, 98, 103, 327
 「井上八千代芸話」 17, 47, 62, 92, 162, 210, 311, 336, 382
 『井上八千代芸話』 23
 「井上八千代の京舞談」 14
 井上八千代米寿舞踊祝賀会 253
 『井上流歌集』 18, 19
 「井上流と上方の舞踊—江戸唄のこと—」 7
 猪熊兼繁 19
 井原西鶴 259, 401
 井菱 62, 63, 212, 216, 442
 「今様四季三番三」 426
 今様能・今様の狂言 330, 331, 336, 338
 井村かね 154
 井村封川(健次郎) 16~21
 「妹背の門松(妹背の門松道行)」 186, 188, 190, 191, 210, 299, 361, 382, 384~386 →「お染久松」
 「妹背山恋道行(妹背山・妹背山道行)」 93, 97, 111, 145, 184, 187, 189~191, 210, 253, 361, 381~386
 井元 85
 イラストレイテッド・ロンドン・ニュース 149
 岩井紫若(初代) 294~296
 岩井半四郎(五代目) 291
 岩佐うの(玉うの) 103, 116
 →玉うの
 岩崎雅彦 337
 巖谷小波 150
 う
 植木行宣 73, 260
 植村文楽翁 119
 『浮世の有様』 84, 319
 『浮世風呂』 401~403
 氏家幹人 401
 「宇治川先陣物語(宇治川)」 189, 191, 210, 361, 383~388, 412
 「宇治の里夕だちなる神」 188
 謡 226, 227, 237

 →謡曲
 謡講 322~324, 350
 「歌占」 318, 334
 歌川国芳 432
 歌川貞芳 433
 歌川豊国(三代目) 432
 『歌系図』 408
 「哥宗論」 328
 →「宗論」
 「うつぼ猿(鞆猿)」 164, 301, 334, 338
 「普知鳥」 278
 「梅ヶ枝」 179, 182, 184
 『うめのはつ花』 83, 337, 338, 342, 346~349
 「梅の春」 9, 102, 162, 185~191
 「梅見船」 186, 190, 191, 427
 梅本寿朝 331
 榎茂都扇性 331
 榎茂都陸平 397
 有楽斎長秀 281, 285, 286, 289, 293, 300
 「浦島」 102, 185, 191, 254, 427, 428
 え
 江上脩次郎 9
 「江口(江口の君)」 180, 182, 183, 191, 332, 427
 江口博 50, 52
 「越後獅子」 186, 190, 397, 398, 421
 江戸歌・江戸唄 20, 23, 110, 191, 217, 242, 251, 257, 288, 291, 302, 361, 362, 387, 388, 390, 410, 412, 416, 450
 『江戸歌大集』『江戸歌唱歌大集』 302, 417, 423, 424
 「江戸絵すかた」 240, 241
 「江戸鹿子娘道成寺」 408
 江戸歌舞伎 212, 213, 395
 江戸長唄 20, 241, 242, 251
 『江戸の歳時風俗誌』 219
 「江戸土産」 397, 398, 421
 「熊源太」 112, 113, 191, 253, 415, 426
 →「源太」
 「熊の梅」 95, 97, 112, 185, 189, 253

◎著者略歴◎

岡田万里子（おかだ・まりこ）

1969年東京都生まれ

1991年早稲田大学第二文学部文芸専修卒業

1995年早稲田大学大学院文学研究科修士課程芸術学（演劇）専攻修了

1999年早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程芸術学（演劇）専攻退学

2011年早稲田大学にて博士（文学）学位取得

現在 ミシガン大学トヨタ招聘教授・歴史学部講師

〔編著書〕

『日本舞踊出集成②京舞・上方舞編』（〈別冊演劇界〉伝統芸能シリーズ、演劇出版社、2005年）

きょうまいいのうえりゆう たんじょう
京 舞井上流の誕生

2013(平成25)年2月13日発行

定価：本体9,000円(税別)

著 者 岡田万里子

発行者 田 中 大

発行所 株式会社 思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355

電話075-751-1781(代表)

印 刷 亜細亜印刷株式会社
製 本

©M.Okada

ISBN978-4-7842-1672-7 C3073

索 引

*本書において言及した舞踊や演劇の作品名、人名、書名、論文名などから、必要と思われるものを項目として採用した。
*書名は「 」、作品名は「 」を付している。
*人名は基本的にフルネームでの採用とした。代数のわかるものは（ ）により補っている。
*表記の違い、略称などのうち、一項目としてまとめた方が利用しやすいと思われたものに關しては「→」により、一項目にまとめた。また、関連のある複数の項目も「→」を付して参照できるようにした。

あ
「相生獅子」 345～347,420
「葵(の)上」 10,12,187,190,318,
339～342,397,398
青柳踊 142
秋里籬島 261,263
「秋葉権現廻船語」 295
「あけぼの(明ほの・曙)」 93,111,175,
181,183,186,189～191,427
浅井勇助 18,155
浅尾工左衛門(初代) 365
浅尾為十郎(初代) 364
浅尾与六(初代) 296
「朝顔」 382
浅田嘉助 117,121,124,125
「朝妻船(朝妻)」 189,287,288
「朝戸出(朝とて)」
95,112,145,185,189,191
「芦柄山山姥」 190
「芦刈」 93,99,111,186,188,190,193,
332,361,381,383
「芦刈笠之段」 168,174,181～183,191,
192,381,384,385
「粹」 183,341
『東貝(阿都満珂比)』 280
『東すがた』 182,291
「安宅」 3,191,186
「あづさ神子」 102
「吾妻子守」 187
『吾妻しらべ』
182,349,388,415～417,423,424
『吾妻の花』 416,417

「吾妻与五郎」 361
→「寿門松」
「海士(海人)」 95,97,112,190,210,253,
295,318,329,337,340,341
→「玉取海士」
嵐吉三郎(二代目) 283
嵐橋三郎(二代目) 287
→嵐璃寛(二代目)
嵐小七 286
嵐小六(初代) 273
嵐小六(四代目) 287
→叶珉子(初代)
嵐三五郎 278
嵐富三郎(二代目) 291
嵐松之丞 276
嵐松之助 274
嵐璃瑠(二代目) 297,299
嵐璃寛(二代目) 286,296,297,299,433
→嵐橋三郎(二代目)
「嵐山」 95,112,145,184,189,337
→「藪入娘」

い

池大雅 280
「意(異)見曾我」 189～191
和泉流狂言 67
伊勢音頭 146,154,155,293
「伊勢音頭」 426,427
「伊勢音頭恋寝刃」 155
『伊勢参宮紀行』 155
「伊勢道中比丘尼」 169,181,183
「伊勢比丘尼」 92,93,98,111
伊勢古市 , 146,153～155